

# 朝日名古屋で別刷り新メディア

## 「asahi+C」10月創刊

### 毎月第2、第4日曜日発行



朝日新聞名古屋本社が「asahi+C」の創刊。名古屋本社管内、愛知県、岐阜県、三重県と静かに配る。発行部数は朝日と同じ約41万部。A4判の大型写真と、そのフルカラー印刷。東海エリアの情報を提供し、単体では十分な価値がある。単体では十分な価値がある。単体では十分な価値がある。

## 「ふむふむ」週刊へ

### 新潟日報のことも新聞

新潟日報社が発行して、ともに届けられる。県内、もたらに新聞を身近なものとして感じてもらいたい。新潟日報社が発行して、ともに届けられる。県内、もたらに新聞を身近なものとして感じてもらいたい。新潟日報社が発行して、ともに届けられる。県内、もたらに新聞を身近なものとして感じてもらいたい。

## 統合編集本部を設置

### 多メディア時代に対応

共同通信は16日、電通系編集業務を指導、子媒体向け配信を意図したデジタル化を進める。多メディア時代に対応するため、統合編集本部を設置する。多メディア時代に対応するため、統合編集本部を設置する。多メディア時代に対応するため、統合編集本部を設置する。

## 災害時の相互支援協定

### 産経と下野が締結

産経新聞社(熊谷隆光社長)と下野新聞社(下野隆光社長)は、災害時の相互支援協定を締結した。産経新聞社(熊谷隆光社長)と下野新聞社(下野隆光社長)は、災害時の相互支援協定を締結した。産経新聞社(熊谷隆光社長)と下野新聞社(下野隆光社長)は、災害時の相互支援協定を締結した。

## 対談で意気込み語る

### 風の予歌コンサート

「風の予歌」コンサートの対談。主催者の意気込みを語り、震災復興への思いを述べた。主催者の意気込みを語り、震災復興への思いを述べた。主催者の意気込みを語り、震災復興への思いを述べた。

## 撤回 要望書提出へ

### 政府行革購読費削減案

新聞協会は9月5日、日付で行政改革の名の下に、新聞購読料を削減する案を撤回し、要望書提出を求める。新聞協会は9月5日、日付で行政改革の名の下に、新聞購読料を削減する案を撤回し、要望書提出を求める。新聞協会は9月5日、日付で行政改革の名の下に、新聞購読料を削減する案を撤回し、要望書提出を求める。

## 組織・事業見直し

### 協会 会費収入の減少

新聞協会は、加盟する理事が報告した。新聞協会は、加盟する理事が報告した。新聞協会は、加盟する理事が報告した。新聞協会は、加盟する理事が報告した。

## 読売新聞社人事

### 9月1日 兼山支局長吉原晋彦

読売新聞社が9月1日、兼山支局長吉原晋彦を任命した。読売新聞社が9月1日、兼山支局長吉原晋彦を任命した。読売新聞社が9月1日、兼山支局長吉原晋彦を任命した。読売新聞社が9月1日、兼山支局長吉原晋彦を任命した。

## 再審開始に大きな役割

### 読売新聞のスクープ報道

読売新聞のスクープ報道が、DNA鑑定結果の再審開始に大きな役割を果たした。読売新聞のスクープ報道が、DNA鑑定結果の再審開始に大きな役割を果たした。読売新聞のスクープ報道が、DNA鑑定結果の再審開始に大きな役割を果たした。

## 新聞協会賞受賞

### カラーブルーの相互利用

新聞協会は9月5日、カラーブルーの相互利用に関する調査報道と技術開発を表彰した。新聞協会は9月5日、カラーブルーの相互利用に関する調査報道と技術開発を表彰した。新聞協会は9月5日、カラーブルーの相互利用に関する調査報道と技術開発を表彰した。

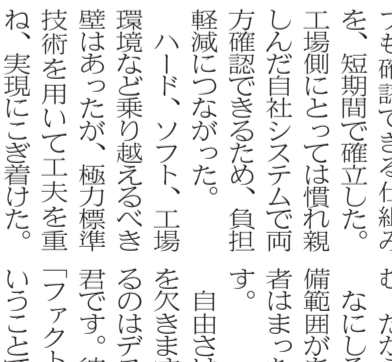
## 特報部が生んだ長期連載

### 朝日新聞の調査報道と技術開発

朝日新聞の特報部が生んだ長期連載「カラーブルーの相互利用」が、調査報道と技術開発の面で高く評価された。朝日新聞の特報部が生んだ長期連載「カラーブルーの相互利用」が、調査報道と技術開発の面で高く評価された。朝日新聞の特報部が生んだ長期連載「カラーブルーの相互利用」が、調査報道と技術開発の面で高く評価された。



「風の予歌」コンサートの対談。主催者の意気込みを語り、震災復興への思いを述べた。



カラーブルーの相互利用の検討。自社システムをモニタリングし、他社と共有する仕組みを示している。